

令和2年（2020年）8月31日

保護者のみなさまへ

下関短期大学附属高等学校  
校長 大井 治 實

新型コロナウイルス感染症に関する差別・偏見の防止について（お願い）

立秋の候 保護者のみなさまにはご健勝のこととお喜び申し上げます。日頃より、本校教育にご理解とご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、夏季休業も終了して2学期がスタートし、無事1週間が経過したところですが、山口県内の各市や近隣の市においては、新型コロナウイルス感染症の新規感染者が数多く報告されています。このため、本校では、再度、感染症対策の徹底と教育活動の両立を推進し、新型コロナウイルス感染症に関する差別・偏見等を起こさない取組を強化してまいりますので、一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

つきましては、下記事項を重点的に指導していますので、ご家庭との一体的な指導となりますようよろしくお願いいたします。

※ 生徒には、文部科学大臣からの「新型コロナウイルス感染者等に対する差別や偏見、誹謗中傷等の防止」に向けてのメッセージと保護者のみなさまへのメッセージ(裏面;相談窓口)を配付しています。ぜひご一読いただきますようお願い申し上げます。

記

- 1 新型コロナウイルス感染症は、細心の注意を払っていても、だれもが感染者になる可能性のある病気であることを理解し、感染した人を責めるのではなく、感染予防や衛生管理を徹底して更なる感染を防ぐ取組みを徹底すること。
- 2 誤った情報や認識、不確かな情報に惑わされることなく、正確な情報や科学的根拠に基づいた行動をとること。さらに、治療の最前線で働く医療従事者の苦労を認め、たたえることで批判や偏見を減らす行動をとること。
- 3 感染者に対する差別や偏見、誹謗中傷等を絶対に行わないこと。そして、自分が差別等行わないだけでなく、陰口や悪口、差別等につながる発言や行動には同調しないこと。とりわけ、SNS等の利用にあたっては、相手の立場になって思いやりのある行動をとること。
- 4 感染を責める雰囲気広がると、医療機関での受診が遅れたり、感染を隠したりすることにもつながりかねず、結局は地域での感染の拡大につながることになる。このことから差別等を行わないことは必要であることを理解すること。

※ 新型コロナウイルス感染症に関する不安、差別やいじめ等がありましたら、学校や【参考資料】記載先までご相談ください。